

令和7年度（川崎高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守意識の向上により公務外の不祥事を防止する。また、若手職員の育成にも留意する。	懲戒事例の共有や資料を基にした研修を通して、法令や決まりごとに沿って職務にあたるのが、保護者や地域の方々からの信頼につながるという意識を改めて高めることができた。若手職員については、普段の声掛けを通して、意識の向上に努めた。
職場のハラスメントの防止	公務員倫理意識を徹底し、パワハラ、セクハラ、マタハラ等を防止する。	具体的な事例をもとにした研修を通して、職場における様々なハラスメントを紹介し、職員の意識向上に努め、防止につなげた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒へのわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	不祥事防止会議や懲戒事例の共有を通して、教職員としての心構えや行動についての理解を深め、未然の防止に努めることができた。引き続き、教職員としての意識を高められるよう努める必要がある。
体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	不祥事防止会議や人権研修会を通して、体罰や不適切な指導に至らないよう、その対応についての理解を図った。引き続き、生徒の人権に配慮した発言や行動に努める。
成績処理及び履修指導に係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	成績処理については、担当グループからその都度配付されているマニュアルに従い、適切な処理を行っている。今後も組織的なチェック体制のもと厳密に行い、適切な処理に努めたい。履修指導においても履修における教職員の理解を深め、組織的に指導を行い、事故防止を図った。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	担当グループから配付されるマニュアルと指示に従い、適切に書類が作成されるよう努めている。今後も事故を未然に防ぐため、担任と副担任、担当グループとの連携を密にし、事故なく作成ができるよう、職員全体で努めていく。
入学者選抜に係る事故防止	マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	県のマニュアルに基づいて校内のマニュアルを適切に作成し、職員全体に対して内容の理解に努め、業務を厳密に遂行できるよう取り組んだ結果、大きな問題も起きずに遂行できた。
生徒の個人情報の収集・取扱いについて	生徒の個人情報の収集・取扱い・管理について講じ、個人情報の流出を未然に防ぐ。	やむを得ず個人情報を持ち出す際は、必要な手続きをして許可を得て目的地へ直行し、不要な立ち寄りはないことで流出の防止に努め、事故を防止した。また、個人情報については、適切な場所に保管することで、紛失等を防ぐことができた。

交通事故防止、 交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯 び運転等を防止 し、交通法規を 遵守する。	不祥事防止会議や懲戒事例の共有、定期的な声掛け等 により教職員の意識の向上に努め、交通に関する不祥 事や事故の防止につなげた。
会計事務等の適 切執行及び業務 執行体制の確保	相互チェック体 制により、適正 な経理処理等 を行う。	会計業務においては、私費会計基準に則って処理し、 適切なチェック体制のもと、滞りなく執行することが できた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

月1回の事故防止会議及び不祥事防止研修会のだけではなく、職員会議や打ち合わせ、教職員個々への声掛け等を通して、教職員としての意識の向上に努めている。引き続き、生徒や保護者、県民等の信頼を損なわないよう取り組んでいく。

- （1）生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止に引き続き取り組む。
- （2）体罰・不適切な指導を防止し、生徒の人権に配慮した言動に努める。
- （3）成績処理や進路関係書類作成について組織的に対応し、事故防止に努める。
- （4）私費会計基準に則った適正な会計処理を引き続き行う。
- （5）教職員に対する日ごろの声掛けや、風通しの良い職場づくりに努めることで、事故・不祥事を未然に防止する体制づくりに取り組む。